

また、自力での作図に戸惑っている児童は、教卓近くのテーブルに集まり、小集団の中でコンパスを使う方法を知り、二等辺三角形を作図していった。教師といっしょに少人数で作業したことにより、線引きやコンパスの技能も高められた。

個に応じた指導の充実

- 基礎的な技能の習熟を図る
- 繰り返し学習

〔第4・5時〕 二等辺三角形や正三角形の作図

1 単位時間における対応として、授業の後半部分に一般化を図る問題練習の場を設定した。

多めに準備された作図問題へ自分のペースで取り組み、遅れがちな児童はひとつひとつ確実に、進んでいる児童は様々な大きさの三角形にチャレンジして、個々に作図技能を高めていくことができた。

〔第8・9時〕 単元終末のコース別学習

単元の全体的な対応として、基礎的な技能の習熟と維持を図る繰り返し学習を、単元の終末に2学級合同授業のT・Tで組織した。

単元終末の2 単位時間を、第8時=30分・第9時=60分で弾力的に計画し、第8時目は振り返りチェック問題を通して自分の課題を見つける時間、第9時目は自分の課題を克服するためのコース別学習に取り組む時間とした。コースは5つ設定し、パソコンコース以外のいずれかのコースから挑戦することにした。

T 1

前半：3コース
かき方・角・三角形を担当し、つまずいている児童へ支援
後半：パソコンコースを中心に指導

T 2

前半：基本コースを担当し、遅れがちな児童への指導
後半：3コースへ移動し、つまずいている児童への支援



基本コース

コース別学習の約束

- ① コースの問題に自力で取り組む。
- ② 分からないときは、ヒント・教科書・先生へ
- ③ 答えを確かめる。
○ ⇒ 次の問題・別のコースへ
× ⇒ やり直す

開始時の人数

| | |
|-----|-----|
| 基本 | 12名 |
| 三角形 | 9名 |
| 作図 | 11名 |
| 角 | 11名 |

⇒

終了時の状況

| | |
|--------|-----|
| パソコン | 14名 |
| コース終了 | 9名 |
| 2コース終了 | 7名 |
| 基本+1終了 | 3名 |